

4/10 木 24

安倍晋三元首相が
『文部春秋』5月号の
インタビューで、「核
共有」議論を改めて強
調していきます。
ロシアによるウクライ
ナ侵略に乗じて、自
民党の一部や日本維新
の筋が持ち出していく
る、アメリカの核兵器
を日本に配備し共同運
用する「核共有」議論をテ
レビで発信した「火付
け役」が安倍氏です。

安倍晋三元首相が
『文部春秋』5月号の
インタビューで、「核
共有」議論を改めて強
調していきます。
ロシアによるウクライ
ナ侵略に乗じて、自
民党の一部や日本維新
の筋が持ち出していく
る、アメリカの核兵器
を日本に配備し共同運
用する「核共有」議論をテ
レビで発信した「火付
け役」が安倍氏です。

安倍氏「核には核で」

破滅の「核共有」議論促す

たのではないかとの議
論があるとして、「核
の抑止力は安全保障上
の戦略において重要」
と、ブーチン大統領の
核撃沈によって無力化
してしまった核抑止論を展
開。ついで、抑止力が
発揮するのは、攻撃す
れば報復されるかもし
れないと相手に思わせ
る「懲罰的抑止」だと
強調し、「報復の可能
性」だけ現実味・

眞実味をもたせられる
たで効果も変わってく
る」と述べ、日本が報
ずることができる「な

復的核使用の意思決定
だとしています。

北大西洋条約機構
(NATO) では、ド

リカの核(核の傘)が、
非当事態にはNATO

軍のコンセンサス(合意)

の核による反撃が予想

されても、核による先

制攻撃を許さないとい

う国や指導者が環れる

地域全体にとってありま

る地球的大規模での破滅を

もたらしかねない危険

確実に報復するという

主張で、危険な報復的

打撃の議論をエスカレ

ートさせています。

ブーチン氏のよう

に「深く闇かす」すべて

が核とは核で、

ロセスに深くノリシタ

極まりない議論です。